



喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)

Be happy with those who are happy, weep with those who weep. (Romans 12:15)



### 「櫛を繋ぐ」

なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。



—フィリピの信徒への手紙3章13節—  
九州学院チャプレン 日笠山 吉之

正月三が日の楽しみは毎年テレビで駅伝を見ることです。今年も元日から実業団対抗駅伝を、2日～3日は箱根駅伝を楽しみました。どちらも九州学院出身の選手たちが大活躍！妻と一緒にテレビに釘付けになって応援しました。結果は、実業団は旭化成、箱根は今年も青山学院大学が優勝しました。どちらも九学出身の選手たちの激走の賜物でした。

駅伝好きが高じて、昨年は小田原に出張した際、思い切って芦ノ湖まで足を伸ばしてみました。芦ノ湖は、箱根駅伝の往路のゴール地点かつ復路のスタート地点。つまり箱根の山を登り切った所にあります。実際に小田原から芦ノ湖までバスに乗ってみました。こんなに勾配が急でジグザグの坂道を自分の足でかけ登り、降りていくのか…と驚きました。

駅伝ではどのチームが優勝するかということに注目が集まっていますが、私はむしろ繰り上げスタートをした末に制限時間切れで櫛を仲間へ渡せなかった走者の無念さに思いが向きます。なんと悔しいことか。でも櫛は決して途切れたわけじゃない。その悔しさがきっと来年の頑張りに繋がっていく！そう声をかけたくくなります。私たちが九州学院という伝統ある櫛を今年もしっかりと繋いでいきたいと思ひます。

## 九州学院みどり幼稚園100周年記念礼拝・式典 ブラウン・メモリアル・チャペルで厳かに ～長岡立一郎牧師(前理事長・元園長)が記念説教～



聖壇から会衆席まで下りて園児に優しくメッセージを語る長岡牧師

2024年11月9日(土)午前、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペル今年献堂百周年にて、九州学院みどり幼稚園(認定こども園)関係者、幼稚園関係者(現職員・退職者)、ふ

たは会(保護者会)創立百周年記念礼拝と記念式典が執り行われました。チャペルにはご来賓の皆さま、学院関係者、幼稚園関係者(現職員・退職者)、ふたは会(保護者会)に在園児と卒園者の計360人が集い、節目の時に共にしました。記念礼拝ではヴァイオリンとピアノによる前奏と後奏、園児による賛美とお祝いの言葉が主なる神さまに捧げられ、長岡立一郎牧師(前理事長・元園長)が「祝福された幼子」と題して記念説教を行いました。長岡牧師は聖壇から会衆席まで下りて園児の近くで優しく言葉を語られました。礼拝に続いて挙行された記念式典では、小副川幸孝院長による挨拶、在園児による歌と演奏が行われました。また、大西一史熊本市長(みどり幼稚園卒園)と大矢野隆嗣熊本県私立幼稚園連合会理事長による来賓挨拶、来賓紹介の後、感謝状贈呈の時間が持たれました。

感謝状は葉祥明美術館長の葉山祥輝様とフアツシヨンドサイナー(株)A.T.D.S.代表取締役社長の田山淳朗様に福田桐理理事長より贈呈されました。葉山様はステンドグラスのご寄贈、田山様は園児の制服デザインを担っていただいたことに対する感謝状贈呈です。新制服披露後に登壇した新垣方ことも園長は、関係各位への謝辞と「第2世紀の歩み」にあたっての決意を力強く表明しました。

### 全国優勝者表彰式を実施

1月20日(月)、九州学院3号館ホールにおいて九州学院高等学校・中学校全国優勝者表彰式を行い、過去1年間に輝いた生徒の偉業を称えました。今回は左記の各優勝選手に小副川幸孝院長より記念品が授与され、大きな拍手が送られました。

#### 高校団体の部優勝

##### 剣道部

●第33回全国高等学校剣道選抜大会男子

- 近本 忠介(3年)
- 森 鳳介(3年)
- 山元 隆太(3年)
- 大平 翔己(3年)
- 河野 悠斗(3年)
- 三浦 弘(3年)
- 島村 昇牙(2年)

#### 中学校団体の部優勝

##### 剣道部

●第54回全国中学校剣道大会男子

- 宮里 兼心(3年)
- 落合 瞳真(3年)
- 高 翔太(3年)
- 坂本 風翔(3年)
- 小宮 尚通(2年)
- 中司 健太(2年)
- 北川 大地(2年)

#### 全国高等学校総合体

●女子陸上競技部

- 近本 忠介(3年)
- 森 鳳介(3年)
- 山元 隆太(3年)
- 大平 翔己(3年)
- 河野 悠斗(3年)
- 竹本恭志朗(3年)
- 安方 晴真(2年)

#### 高校個人の部優勝

●女子陸上競技部

- SAGA2024・全国障害者スポーツ大会陸上競技女子年齢および等級別(100m)
- 原 かのん(1年)

#### 祝・2連覇達成!

高校剣道部は全国高等学校総合体育大会剣道競技男子団体で2年連続11回目の優勝、高校女子陸上競技部の原かのん選手は全国障害者スポーツ大会陸上競技年齢・等級別で100mと200mの2種目2連覇を大会新記録で達成しました。

### 院長室だより

院長 小副川 幸孝



2025年となり、米国の大統領を始めとして多くの国の政治的指導者と呼ばれる人たちが替わっていき、今年は何となく変化の多い年になりそう。この時が「正念場」と呼ばれる状況かもしれないと思ったりしています。そういう中で、わたしは年末から年始にかけて、現在書いている新しい本の参考に必要もあって、20世紀フランスの哲学者シモーヌ・ヴェイユの本を読み返していました。

シモーヌ・ヴェイユは、第一次世界大戦と第二次世界大戦の間を生きたユダヤ系のフランス人女性でしたが、日本の中・高にあたる生徒の時は成績が悪くて中退してしまします。担任の教師は「彼女に足りないのはここです」と自分の額を叩いて見せたほどだと言われました。しかし、15歳で大学入学資格試験(バカロレア)に合格し、22歳で大学教授資格試験(アグレガシオン)に合格するなどの英才ぶりを発揮しました。そして、日本の高等学校に相当する女子高等学校の哲学学級教授に任命されて赴任します。彼女は、与えられた教科計画に従わず、丸暗記教育ではなく自分の頭でテーマを考えることを重視し、学校の管理者にとつては頭の痛い存在でしたが、生徒たちからは人気があり、彼女がセクターの前のうしろを逆に着てクラスに来た時には、生徒たちが見張を立てて彼女が黒板の後ろで着替えられるように配慮した、という逸話も残っています。

この彼女の遺作とも言われるものが「根を持つこと」で、外的な要因によってではなく、自分の内的必然に従って生きていることができるような「根」を持つことこそが重要なことだと論じていたのです。「まかれた種はすぐに芽を出すが、根がないために枯れてしまう」とはイエスの教えですが、今年、変化が多い年だと予測されるがゆえに、変わらない「根」をもつことを習得する学校であれば、と願います。



# 学校長あいさつ

中高校長 室永 芳久



平素より、本学院の教育活動にご理解、ご支援賜り、誠にありがとうございます。暦の上では新年となりますが、学校は第三学期、一年の総仕上げの学期となります。中高の各学年とも、しっかりと目標をもって日々の学校生活に取り組んでほしいものです。

学院の方も、中学校の二回の入学試験も無事終わり、いよいよ高校の入試となってまいります(執筆時点)。幸いにして、今年度も中学校・高校とも、多くの受験生の方に出願いただいております。九州学院を支持していただいている関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

学校を取り巻く社会情勢は、教員不足、働き方改革、部活動改革、文科省による指導要領の見直しなど、これまでの学校が担ってきた社会的役割について、大きく変化が求められることが予想されます。そうした中でも、九州学院が長い伝統の下で培ってきた精神、キリスト教に基づく全人教育の重視などは、決して変えてはならないものと考えております。

こうした変化の時代の中にあって、九州学院としてのゆく道をしっかりと考え、次年度も取り組んで参りたいと考えております。

今後とも皆様のご理解、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 「九学祭」大盛況!

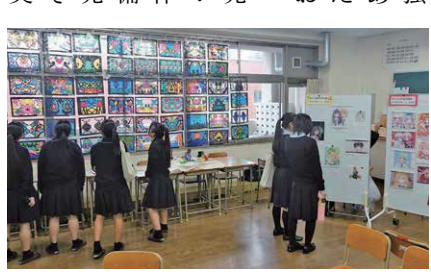
校内発表(11月1日金) 総合体育館で実施しました。主な発表内容は以下のとおりです。



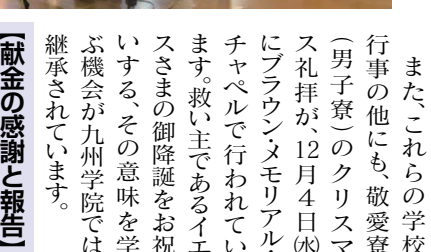
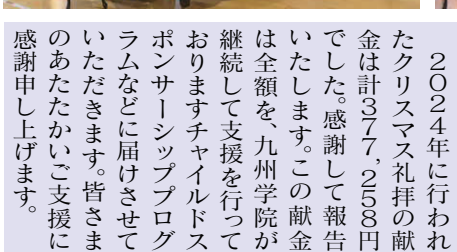
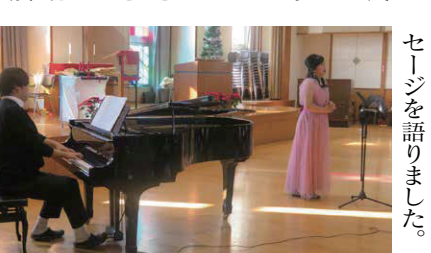
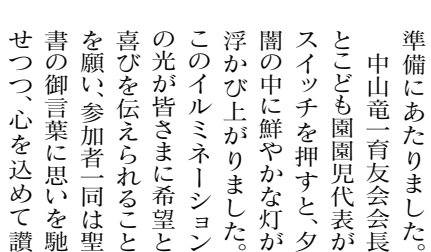
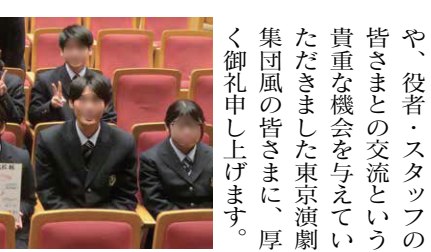
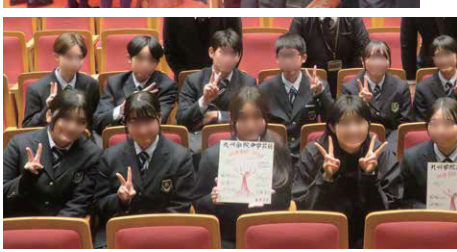
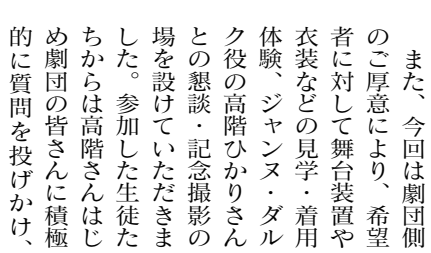
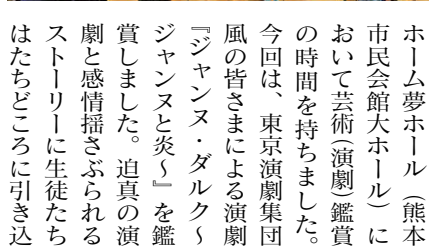
高校書道部(揮毫)、高校生平和大使活動報告、オーストラリア研修報告、高校空手道部演武、高校チアダンス部、高校3年生アスリートクラス音楽選択者(和太鼓演奏&合唱)、ヒップホップダンス(有志)、高校吹奏楽部



台風21号の影響で断続的な激しい降雨と強風で変更点や困難はありましたが、今回もたいへん多くの方々にお越しいただきました。企画や展示、販売発表を行った実行委員会、クラス・部活動、諸団体はこの日に向けて準備を重ねてきた成果を發揮することができ、それぞれの表情には充実感や喜びが現れていました。また、今回も全発表等からどれがよかったかを来場者に投票してもらおう企画を実行



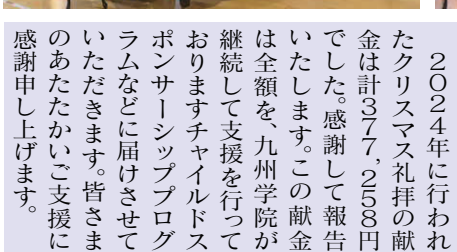
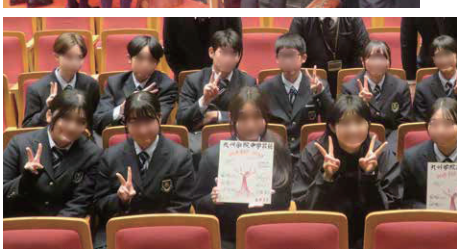
委員会が行い、多くの方々に投票していただきました。皆さまの来場とご協力に感謝を申し上げます。



## 芸術鑑賞「ジャンヌ・ダルク」

12月12日(木)午後、中は市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館大ホール)において芸術(演劇)鑑賞の時間を持ちました。

今回は、東京演劇集団風の皆さまによる演劇『ジャンヌ・ダルク』を観賞しました。迫真の演劇と感情揺さぶられるストーリーに生徒たちはたちどころに引き込まれ、カーテンコール



では一段と大きな拍手が送られていました。また、今回は劇団側のご厚意により、希望者に対して舞台装置や衣装などの見学・着用体験、ジャンヌ・ダルク役の高階ひかりさんとの懇談・記念撮影の場を設けていただきました。参加した生徒たちからは高階さんはじめ劇団の皆さまに積極的に質問を投げかけ、そのすべてに丁寧に答えてくださいました。

通常の演劇鑑賞では非公開であることが多い舞台の表と裏の見学や、役者・スタッフの皆さまとの交流という貴重な機会を与えていただきました。東京演劇集団風の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

中山竜一育友会会長と子ども園児代表がスイッチを押すと、夕闇の中に鮮やかな灯が浮かび上がりました。このイルミネーションの光が皆さまに希望と喜びを伝えられることを願い、参加者一同は聖書の御言葉に思いを馳せつつ、心を込めて讚美歌を歌いました。

また、これらの学校行事の他にも、敬愛寮(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月4日(水)にブラウン・メモリアルチャペルで行われています。救い主であるイエスさまの御降誕をお祝いする、その意味を学ぶ機会が九州学院では継承されています。

## イマニエルカレッジ(豪州・姉妹校)との新合意事項を締結

11月21日、1990年より九州学院と姉妹校関係にあるオーストラリアのイマニエルカレッジを小副川幸孝院長らが訪問し、これまで長らく行われてきた交換留学生および相互訪問団の派遣・受入についての新合意事項調印式に臨みました。



今回締結された新合意事項は、姉妹校締結当初の合意事項を踏まえつつ、時代や状況の変化に対応する詳細な内容となっております。

小副川九州学院院長とポール・ライト・イマニエルカレッジ校長は合意した内容を記した文書(覚え書き)の英語版2通と日本語版2通にそれぞれサイン

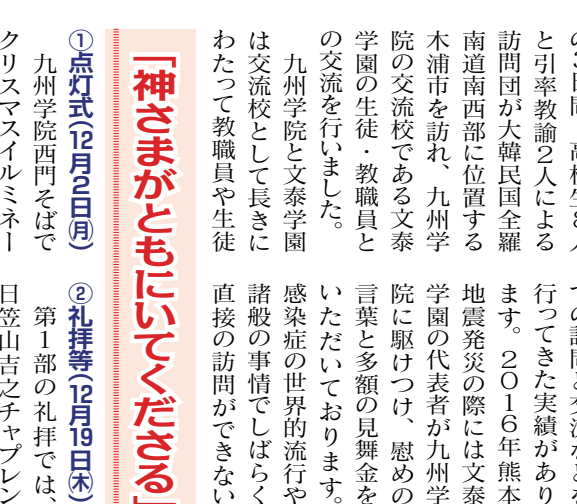
して、新合意文書が正式に発効しました。30年以上にわたる両校の絆はこれからさらに強くなることでしょう。

なお、今回の調印式には九州学院からは国際交流委員である池田キャシー先生が、イマニエルカレッジからは日本担当者であるレイチェル・フランシス先生が同席しました。

※先方からの要望により、同校の日本語での表記名は「イマニエルカレッジ」で統一することにいたしました。

## 文泰学園(韓国 交流校)に訪問団を派遣

11月19日(火)・21日(木)の3日間、高校生8人と引率教諭2人による訪問団が大韓民国全羅南道西部に位置する木浦市を訪れ、九州学院の交流校である文泰学園の生徒・教職員との交流を行いました。



九州学院と文泰学園は交流校として長きにわたって教職員や生徒の相互訪問や研修旅行での訪問と交流などを行ってきた実績があります。2016年熊本地震発災の際には文泰学園の代表者が九州学院に駆けつけ、慰めの言葉と多額の見舞金をいただいております。

感染症の世界的流行や諸般の事情でしばらく直接の訪問ができない状態が続きましたが、今回は2018年以降6年ぶりとなる訪問団派遣が実現しました。

訪問団一行は文泰学園での歓迎行事や授業などで交流を深め、韓国語や英語を駆使してコミュニケーションをとっていました。今回の交流時期は未定ですが、文泰学園からの訪問団が九州学院に来校する予定です。

## 「神さまがともいてくださる」クリスマス行事

①点灯式(12月2日(月))

九州学院西門そばでクリスマスイルミネーション(育友会提供)点灯式が行われました。式では中高吹奏楽部や敬愛会(高校宗教部)など多くの生徒が奉仕や準備にあたりました。

②礼拝等(12月19日(木))

第1部の礼拝では、日笠山吉之チャペレンが「善き力に守られて」の説教題で、第二次世界大戦下ドイツの牧師ボンヘツァーの話を交えてクリスマスメッセージを語りました。

また、これらの学校行事の他にも、敬愛寮(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月4日(水)にブラウン・メモリアルチャペルで行われています。救い主であるイエスさまの御降誕をお祝いする、その意味を学ぶ機会が九州学院では継承されています。

また、これらの学校行事の他にも、敬愛寮(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月4日(水)にブラウン・メモリアルチャペルで行われています。救い主であるイエスさまの御降誕をお祝いする、その意味を学ぶ機会が九州学院では継承されています。

また、これらの学校行事の他にも、敬愛寮(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月4日(水)にブラウン・メモリアルチャペルで行われています。救い主であるイエスさまの御降誕をお祝いする、その意味を学ぶ機会が九州学院では継承されています。

## 献金の感謝と報告

2024年に行われたクリスマス礼拝の献金は計377,258円でした。感謝して報告いたします。この献金は全額を、九州学院が継続して支援を行っておりますチャイルドスポンサーシッププログラムなどに届けさせていただきます。皆さまのあたたかいご支援に感謝申し上げます。



# 男子校から共学へ=1991年= ~九学らしさが生み出す人材~

女子1期生 古賀 泰代(S46回卒)



1991年、80年間男子校だった九学が共学に移りました。高等部には男子約1000人と私を含む女子約30名が在籍。九学は県内で先駆けて共学に踏み切った中で、最初は先生方が女子の対応などで戸惑っておられたりすることもあれば、女子を受け入れるのに十分なインフラが整っていなかったことで経験や意見を重ねて改善を続けました。一期生は男女共に、共学に移行した九学の基盤を強化し更に発展させるためのテストケースでもありましたが、それも一興で今となってはよき思い出。共学第1陣として、のびのびと様々な経験をさせてもらいました。

あれから34年。それまでの男子校としての九学の歴史と想いを大切にしつつ、九学は、時代の流れに乗った男女共創協働社会で創造&挑戦できる場所として発展し続けており、学生達はその恩恵を受け、在学中にも卒業後も多様な機会を利用し様々な分野で活躍しています。最近では、某国際団体の国連会議で議長を務めた橋本龍生君、米国でプロ野球選手を通訳として支える園田芳大君、オスロでのノーベル平和賞受賞式に出席した島津陽奈さん、インドで社会課題解決体験を通し使命を得た桑崎敬介君などが記憶に新しいでしょう。

人の個性を伸ばし、人の多様性に触れ、様々な機会に恵まれる九学で、今の生徒達が何を享受し、何を感じ、どんな風に羽ばたいていくのか。今後も、在学学生、卒業生の活動の幅は周囲の期待や想像を超えていくでしょう。



## 「二十歳を祝う会」を開催

~新たな旅立ちを祝う~

1月13日(月・祝日)、モリアル・チャペルに「二十歳を祝う会」が、おいて開催されました。同窓会「若手の会」九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにて

## 同窓会だより



が主管するこの会は、二十歳を迎える卒業生を母校へ迎え、恩師・先輩・家族らで祝いするものです。今年もS75回・J73回の卒業生約200名のほかにご家族、恩師を中心に学校関係者などを含め約250名が参列し、祝賀礼拝が行われました。参列者は声高らかに讃美歌を唄い、日笠山吉之チャプレンの説教に熱心に耳を傾けていました。礼拝の後に小副川幸孝院長、当時の担任の先生方、土師英嗣若手の会会長が祝辞を贈り、来海涼友元高校生徒会長が謝意と決意を述べ、最後に記念写真撮影が行われました。二十歳になられた皆さんの今後のご健勝とご活躍を心からお祈り致します。

### 最近の地域・職域同窓会

- 12月14日 義務制教職員同窓会
- 12月20日 阿蘇中部九学会
- 1月31日 市役所九学会
- 2月15日 九学天草会 (学級、学年、部活の同窓会を除く)

## 敬愛寮BBQ交流会

1月18日(土)、敬愛寮西棟の前庭において寮生やクラブ生と同窓生との食事が開催されました。これは親元を離れて学業や部活に励んでいる敬愛寮生らにパーベキューを中心とした昼食を提供して元気づけようと、九学同窓会・育友会の有志が企画したものです。会場には寮生、クラブ生を中心に総勢約200人が集い、パーベキュー・ラーメン、デザート等ご馳走に舌鼓を打ちました。すべての食材や機材などの必要品、キッチンカー(味千ラーメン)の提供はもとより準備や調理、後片付けまで、若手の会やリディア会(女子部会・育友会の方々)にお世話を頂きました。先輩・後輩のつながりを改めて確認できた素晴らしいイベントとなりました。

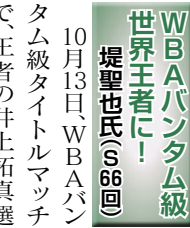


また、先の第55回熊日スポーツ賞の特別賞に輝きました。同賞は国内外の大会で活躍した熊本県関係の選手や指導者をたたえるもので、今回はインターハイで優勝した高校剣道部や全中を制した九中剣道部の奨励賞等を含め7団体26個人が表彰されました。(写真・令和7年1月4日付熊本日日新聞紙面より)

WSB Aバンタム級 世界王者に! 提聖也氏(S66回)

10月13日、WSBバンタム級タイトルマッチで、王者の井上拓真選手(大橋)を破り、新世代チャンピオンとなった提聖也選手(角海老宝石・S66回・2014年卒)は、2月24日(月)に東京・有明アリーナに於いて、比嘉大吾選手(志成)との初の防衛戦、WSB A世界バンタム級タイトルマッチ12回戦を行います。

青山学院大4年生の鶴川正也選手(S73回・2021年卒)は、今年の箱根駅伝に初めて起用され、3区を区間4位で好走し、チームの二年連続総合優勝に貢献しました。高校時代には全国高校駅伝の1区で区間賞を獲得するなどの活躍で鳴り物入りで進学した青学大でしたが、度重なる故障に苦しみました。しかし、最終学年の昨年6月の日本選手権5000メートルで、屋外日本人学生歴代最高の好記録をマーク。秋の出雲駅伝、全日本大学駅伝をいずれも区間1位と活躍し、最初で最後の箱根駅伝の大舞台での見事な復活の走りでした。



箱根駅伝の大舞台 不屈の精神で復活 鶴川正也氏(S73回)

女子ラグビー 日本を目指して 森永菜月氏(S72回)

社会人女子ラグビーの森永菜月選手(S72回・2020年卒)が所属するYOKOHAMA A.T.K.M.特定非営利活動法人は、11月13日(5日)に行われた15人制の関東大会のOTOW Aカップで見事優勝し、1月18日(2日)に三重県などで行われる「全国女子ラグビーフットボール選手権大会」への出場権を掴みました。森永選手は武蔵中時代に県のチームで女子ラグビーを始め、九州学院時代にはラグビー部のマネージャーも務め、日本

元日に群馬県庁前を発着点として37チームが参加して行われた全日本実業団対抗駅伝の最終7区で、早



九学祭にリディア会も出店

昨秋の九学祭(文化祭)には同窓会のリディア会・若手の会の有志も参加し、それぞれのブースで九学グッズや食品などのパサーを行いました。同祭は入場制限をするほどの盛況で、ブース内での会員同士の交流を深める良い機会にもなりました。

## 九学写真部OB有志の 記念写真展

~ブラウン・メモリアル・チャペル献堂100周年~

ブラウン・メモリアル・チャペル献堂100周年にあたる記念すべき年に、九学写真部OBの有志による写真展を37年ぶりに開催する運びとなりました。写真部OBで現在、写真家として熊本市内で写真館を経営している正木誠一氏(S37回卒)が2024年に栄えある文部科学大臣賞を受賞。受賞お祝い会を写真部OBで開催し学生時代を熱く語り、良き時代を皆思い出しました。今回の写真展はS29回からS38回卒業生の有志9名で行います。当時の写真部は、県下の高校写真部の中で優秀な成績をおさめ毎年開催される高校写真連盟のコンテストで6年連続優勝を記録しました。それぞれ卒業後はプロの写真家や写真店経営者、映像を職業とする者など、現在も活躍しています。今回は、各個人が歩んできた人生をテーマとしており色々な作品が会場に展示されます。是非、会場にお立ち寄りください。4月16日(休)から4月21日(月) 鶴屋百貨店 ふれあいギャラリー 東館8Fでお待ちしています。(柴田浩次会員記)

<お知らせ> 同窓会HP(九州学院ホームページ内)には、本頁右上「同窓会だより」の表記内にあるQRコードから入れます。スマホ対応に見やすい画面となり、過去のニュース等も閲覧出来ますので是非お試下さい。



手に追いつきその背後でびつたりと約10キロをマークし、最後に猛走りをして狙い通りの勝利となりました。



## 北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が拉致被害者家族会で活動中。

## 九州学院大同窓会 総会・懇親会

日時: 2025年4月18日(金)  
場所: 熊本ホテルキャッスル  
※旧・現職員も多数参加します



「九学同窓会だより」 編集人 小手川 勲



創立者の精神を覚える会講演『誇り・夢・元氣 九州学院と私』

高森町教育顧問・九州学院理事 佐藤 増夫 先生

1月19日を学院の創立記念日(開校191年)として定め、毎年この時期に創立記念講演会を行っています。本年は1月20日(月)、高森町教育顧問で九州学院理事を務められ、昨秋に叙勲受章された佐藤増夫先生(九州学院高校S20回卒)より中

人一人がかげがえのない大切な存在です。から、自分を大切に、自分の個性を持ち味を發揮して「元氣」に自ら「夢」に向かって挑戦してください」と九州学院の後輩である生徒に語られました。

12月16日(月)、九州学院3号館ホールと各教室(中継)で2024年度ミッションウィーク講演会を行いました。講師にルーテル学院中学校・高等学校チャプレンの野口和音先生をお迎えして「あなた

野口先生は「雑談は相手と聞き取りたい話題にする」とも、相手に寄り添い、相手を導く聞き手となることを忘れないでいただきたいのです。九州学院で学ばれる皆さんは、相手の立場に立った徹底的な寄り添いを通して

野口先生は「雑談は相手と聞き取りたい話題にする」とも、相手に寄り添い、相手を導く聞き手となることを忘れないでいただきたいのです。九州学院で学ばれる皆さんは、相手の立場に立った徹底的な寄り添いを通して

ミッションウィーク講演『あなたの世界を広げる雑談力』

ルーテル学院中学校・高等学校チャプレン 野口和音 先生

島津陽奈さん(高2)が高校生平和大使としてノルウェーへ!

ノールベル平和賞授賞式列席や現地での交流活動に動しむ



島津陽奈さん(高2)は12月に高校生平和大使としてノルウェーを訪れ、ノールベル平和賞授賞式に列席するとともに、現地(オスロ市)

から指名されました。高校生平和大使一行はオスロ市庁舎ホールで行われたノールベル平和賞授賞式に参列後、歴史的な場面に立ち会うことができた重みを噛みしめながら、各自の思いを語りました。

現地の高校を訪れた際には、事前に共同で準備してきた資料を用いて英語による核兵器廃絶の必要性について授業を行うとともに、意見交換、平和を祈る折り鶴作り体験など学びと交流を深めました。

育友会活動報告(10月~1月)

①秋の講演会を開催

11月13日(水)、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにて、育友会秋の講演会を開催しました。今回の講師として九州学院主幹教諭の米田敏郎先生をお迎えしました。米田先生は「心が強くなるためには人間力を高めることが必要で、そのためには理解力と準備力が求められます。生徒の皆さん、お子さんが九州学院を卒業して将来、自身の子

11月2日(土)、九学祭の一般公開に際して、中学校(合同)・高1・高2・高3・執行部の5団体が特製グッズの販売や食パズーを実施しました。荒天下で苦勞しましたが、元氣よく販売活動を行いました。

②九学祭に出店参加

毎年好評を博しています。クリスマスイルミネーションを本年度も提供しました。点灯期間中、優しく美しい光が学院関係者や道行く人々にクリスマスの喜びと愛や平和の大切さを伝えていました。

③クリスマス行事支援

12月20日(金)、大学入学共通テスト受験生の学共通テスト受験生の激励会を開催し、中山竜一会長が激励の言葉をかけて、育友会提供「ヨリ格祈念グッズ」を受験生に贈呈しました。※中学3年生全員にも別途贈呈しています。

④共通テスト受験激励

12月20日(金)、九州学院高校を卒業する高校3年生の皆さんに、今回も育友会が卒業記念DVD「S77 回生の軌跡」を制作しました。高校生活3年間を映像や写真で振り返る構成となります。※贈呈は2月下旬予定

⑤高3卒業DVD贈呈

10月20日(日)、「第73回チャールズ杯争奪全日本高等学校英語弁論大会」(関西学院大学と青山学院大学の英語研究部合同主催)二次

⑥朝のあいさつ運動

今期は終業式や始業式など節目の朝に輪番制で行いました。12月20日(金)は高1、1月8日(水)は中学、1月24日(金)は高3のそれぞれクラス役員と執行部の有志が、登校する生徒たちに挨拶を行い、生徒たちも爽やかな挨拶を返していました。

「英語弁論」古閑莉乃さん(高2)が快挙!

古閑莉乃さん(高2)は、国内で開催される高校生を対象とした英語弁論大会のなかでも最難関の一つとされる大会で決勝大会進出を果たすなど、各大会において活躍しました。

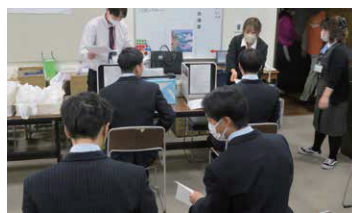
10月20日(日)、「第73回チャールズ杯争奪全日本高等学校英語弁論大会」(関西学院大学と青山学院大学の英語研究部合同主催)二次

予選である西日本予選で関西学院大学で開催され、古閑さんは同予選で4位に入り、上位6人のみに与えられる決勝大会の出場権を獲得しました。この大会は全国の高校生を対象とした由緒ある英語弁論大会で、西日本予選に出場することさえ困難だといわれるほどハイレベルな大会です。

なお、前年度に行われた第72回大会では、古賀咲希さん(高3)が決勝大会に進出しており、本校としては2大会連続での決勝大会進出となりました。古閑さんは他にも九州高等学校英語スピーチコンテストに進出するなど各大会で顕著な成績を残しています。(画像は西日本予選のもの)

「献血キャンペーン」に生徒教職員が協力!

12月18日(水)、熊本県赤十字血液センターの皆さまが来校され、毎



冬恒例の「献血キャンペーン」が開催されました。九州学院高校の生徒と教職員は長年にわたって献血に協力をしてきた実績があり、今回も呼びかけに応えた高校3年生を中心に約90人が献血を行いました。現在でも全国的に輸血用血液の不足状態が継続しているといわれ、今回の献血が少しでもお役に立てることを願っています。





九州学院みどり幼稚園  
変わらぬ歩みで新しい歴史を刻む

認定こども園九州学院  
みどり幼稚園園長 新垣 力

今年度の九学通信は「愛され、健やかに育つてみどり幼稚園100周年の中心にお伝えしてきました。」

「集団の中で自分はどういう役割を担い、行動するの」といった学びは、幼児期だけでなく、生涯大切にしなければならぬ人としての生き方であるはずで、心身の成長を図るために「正しい自己肯定感」を育むことが大切であると考えます。子どもたちの傍らに居る私たちは、子どもたちに向ける視線を、肯定的で温かい眼差しでありたいと心がけています。子どもたちが自らの可能性を最大限に引き出せる環境づくりはどうあるべきかを模索しながら、これからも、子どもたち一人ひとりの個性を尊重して、愛情をもって接していく所存です。



1924年に設立されたみどり幼稚園は、当初から「神と人から、各々さまざまな道と信じています。」

「最後にありますが、ご支援ご協力いただいております保護者の皆様、学院関係者の皆様様に、深く感謝申し上げます。」

九中  
コーナー  
九学祭

11月2日(土)は九学祭の一般公開日でした。

11月5日(火)〜8日(金)、広島・関西方面への研修旅行を3泊4日で実施しました。初日は広島平和記念公園にて平和学習を行いました。資料館で被爆資料などを見学し、巡ったり家族へお土産を買ったりと、各班充実した内容でした。3日目は奈良公園を訪れ、奈良公園内、南大門、東大門の見学を行い、歴史・文化について理解を深めることができました。午後はカップヌードルミュージアムでオリジナルラーメンを作り、発明に触れながら多くのことを学んだ研修旅行となりました。

研修旅行



2日目は京都市内で自主研修を行いました。事前に立てた計画をもとに観光名所を巡ったり家族へお土産を買ったりと、各班充実した内容でした。3日目は奈良公園を訪れ、奈良公園内、南大門、東大門の見学を行い、歴史・文化について理解を深めることができました。午後はカップヌードルミュージアムでオリジナルラーメンを作り、発明に触れながら多くのことを学んだ研修旅行となりました。

最終日はユニバーサルスタジオジャパンへ行き、思い思いの乗り物を楽しんでいました。歴史や文化、風土に触れながら多くのことを学んだ研修旅行となりました。

問意識、規範・協同・奉仕の精神を学ぶことも良い機会となりました。

ハーモニーフェスティバル

11月13日(水)にハーモニーフェスティバルを行いました。当日も心を一つに素晴らしい歌声をチャペルに響かせ、多数の保護者の方にご鑑賞いただきました。

(中学校)学友会活動成績(9月1日〜12月31日)

- 空手道部
第19回熊本県中学生空手道新人大会兼第19回全国中学生空手道選手権大会(12月8日)
(菊池市総合体育館)
▽男子個人形1年生の部 3位 下村 大輝(1年)
▽女子個人組手1年生の部 4位 神山 雅泉(1年)
弓道部
第32回熊本県中学生新人弓道大会(11月17日)
(南部総合スポーツセンター)
▽男子団体 1位
▽女子団体 2位
柔道部
県下中学校新人柔道錬成大会(10月26日)
(山鹿市総合体育館)
▽男子団体 1位
▽女子団体 3位
剣道部
第62回県下中学校剣道大会(新人戦)(10月27日)
(菊池市総合体育館)
▽団体 1位
水泳部
第56回九州ジュニア水泳競技大会(9月21-22日)
(福岡市立総合西市民プール)
吹奏楽部
第55回中学校器楽合奏コンクール(10月12日)
(熊本県立劇場コンサートホール)



# 学友会活動成績

(9月1日〜12月31日)

部名	大会名	日付	種目	順位	選手名
剣道部	第39回九州高等学校選抜剣道大会熊本県予選	11月9・10日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第60回熊本県予選	11月23日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
弓道部	熊本県高等学校弓道競技大会	9月28・29日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第25回青龍旗高校剣道大会	12月22日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
水泳部	第86回末弘杯 全九州高等学校選手権新人水泳競技大会	9月28・29日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第28回九州高等学校新人水泳大会	11月22・24日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
ハンドボール部	第53回九州高等学校ハンドボール選抜大会熊本県予選	11月22・24日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第48回全国選抜大会熊本県予選	11月22・24日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
ラグビー部	矢野杯高校1年生大会	9月1日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会熊本県予選	10月20・21・22日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
空手道部	熊本県高等学校空手道新人大会兼九州高等学校空手道新人大会熊本県予選	10月25・27日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第32回河北新報杯空手道選手権大会	12月25・27日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
自転車競技部	第93回全日本自転車競技選手権大会トラックレース	9月6・9日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第59回全日本自転車選手権大会	9月22・24日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
陸上競技部	第42回九州高等学校陸上競技新人大会	10月26・27日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第23回全国障害者スポーツ大会	10月14日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
チアダンス部	ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPION SHIP九州予選大会	9月14日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第50回熊本県アンサンブルコンテスト	12月15日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
吹奏楽部	第37回熊本県高等学校英語スピーチコンテスト	9月14日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第73回インターナショナル杯	10月20日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
英語	第37回熊本県高等学校英語スピーチコンテスト	9月14日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗
	第73回インターナショナル杯	10月20日	男子個人	1位	山本 隼斗
			男子個人	2位	山本 隼斗
			男子個人	3位	山本 隼斗
			男子個人	4位	山本 隼斗
			男子個人	5位	山本 隼斗
			男子個人	6位	山本 隼斗